修学旅行から、
未来の奈良ファンをつくる。

奈良市修学旅行誘致事業
進捗状況と今後の取組について

冬季宿泊誘致による、
深い奈良体験の提供と未来の奈良ファンづくり。

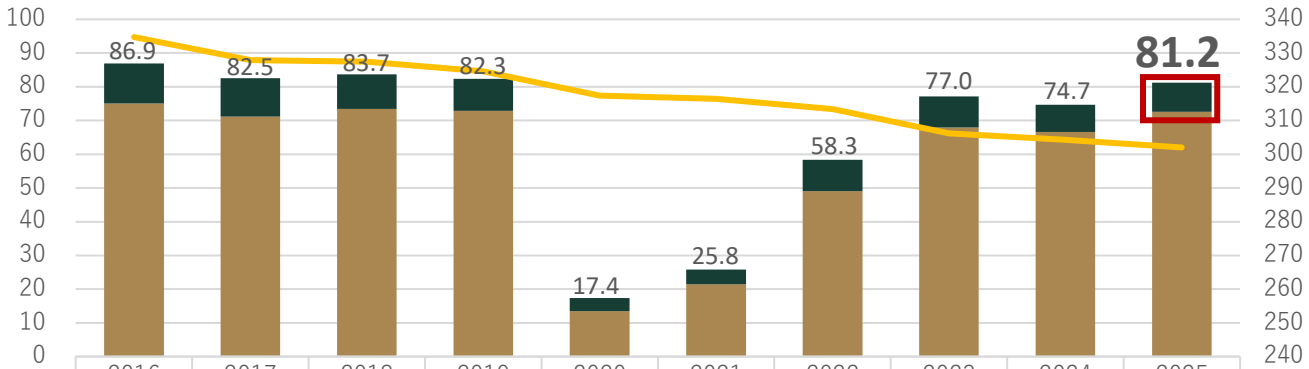


2025年、奈良市を訪れた修学旅行生徒は

81.2万人

全国の修学旅行生徒数が2016年比9.8%減となる中、6.6%減にとどまりました。

図表　修学旅行生数の推移（10年間）



	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
宿泊(左軸)	11.9	11.3	10.3	9.4	3.9	4.3	9.3	9.2	8.1	8.7
日帰り(左軸)	75.0	71.2	73.4	72.9	13.5	21.5	49.1	67.9	66.6	72.6
修学旅行対象生徒数(右軸)	334.7	327.9	327.4	324.6	317.4	316.4	313.4	306.2	304.3	302.0

修学旅行対象生徒数は、小6・中3・高2の合計値。文部科学省「学校基本調査」をもとに奈良市作成

うち奈良市内宿泊校は1,090校・86,622人

前年からの増加　＋5,481人

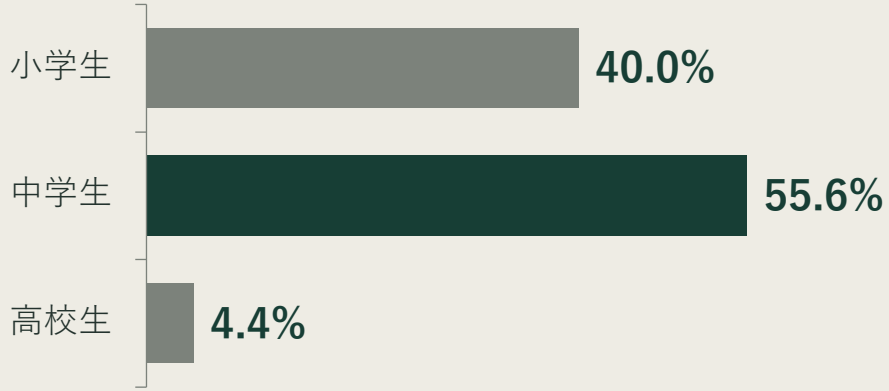
全国各地から修学旅行生が宿泊しています。
この受入実績を土台に、学校への情報提供と冬季の宿泊誘致を進めます。

出典：奈良市観光入込客数調査報告（2025年）第9表。

首都圏（東京・神奈川・埼玉・千葉）は、奈良市の中学生の修学旅行を支える基盤

奈良市の宿泊者は中学生が過半数。首都圏からの中学生も多く来ています。

奈良市の宿泊者の内訳（2025年）



中学生は前年から約5,700名増（約42,500人→約48,100人）

首都圏からの中学生

32,644人

首都圏の中学2年生（約29万人）の約11%

約9人に1人が、奈良市で宿泊しています

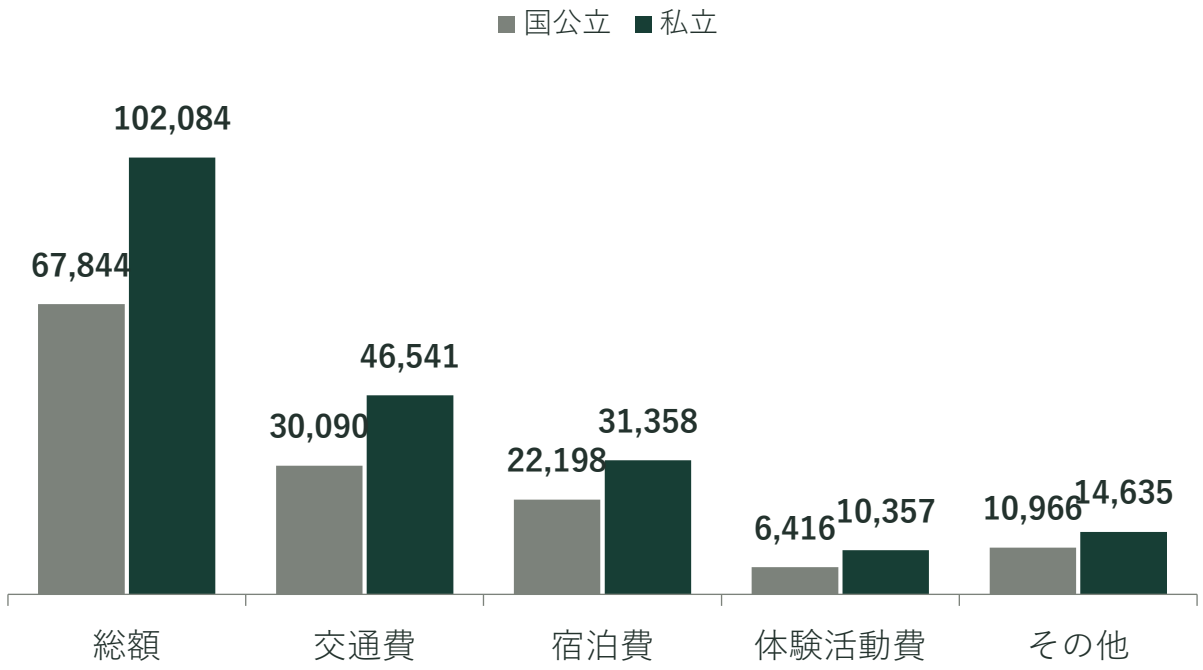
首都圏からの宿泊者の約92%は中学生です（2025年）。

首都圏は、奈良市の中学生の修学旅行を支える基盤です。

※首都圏の中学生宿泊者：奈良市修学旅行受入データ（2025年、延べ数、中学生は全学年）。首都圏の中学2年生：文部科学省「令和7年度学校基本調査（確定値）」294,250人。宿泊者の内訳：奈良市観光入込客数調査報告（2025年）第9表。

中高一貫校が加速！私立の約65%が首都圏に集中

私立の旅行単価は国公立の約1.5倍。中高一貫校は2016年度から約17%増えています。



生徒1人当たり（円）

中高一貫校（令和7年度）（全国）

私立 458校 うち首都圏 298校（約65%）

2016年度（391校）から約17%増

公立 227校

2016年度（199校）から約14%増

国公立との差（総額）　+34,240円（約1.5倍）

体験活動費は国公立の約1.6倍

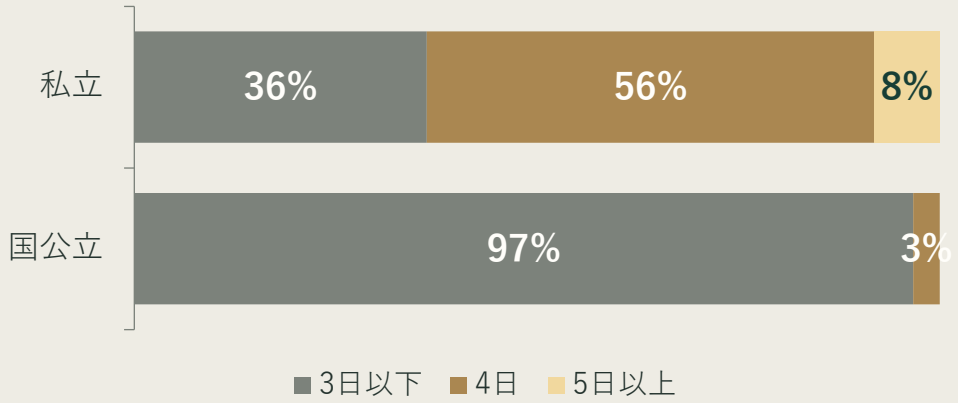
成長が続く私立の中高一貫校は、学ぶことへの投資が多い。

出典：教育旅行年報（2025年）表-4-1（内訳の合計は総額と一致しない）。中高一貫教育校数：文部科学省（令和8年8月）。首都圏の内訳は出典確認中。

私立の修学旅行は長期滞在！約64%が4日以上

学びを深める長い日程が、私立で多く見られます。

旅行日数の内訳（全国）



4日以上の割合：私立 64%／国公立 3%

私立

64%

が4日以上の修学旅行をしています

国公立の4日以上は3%

平均旅行日数：私立 3.7日／国公立 3.0日

中高一貫教育校は増加：私立 458校（2016年度比+17%）、公立 227校（+14%、併設型の増加が中心）

中高一貫校に、奈良へ来てほしい。閑散期なら補助金もあります。

出典：教育旅行年報（2025年）表-3（全国・件数ベース）。中高一貫教育校数：文部科学省「高等学校教育の現状について」（令和8年8月）。

首都圏の中高一貫校を重点誘致先に設定

奈良には、まだ「答えのない学び」がたくさん。探究にふさわしい奈良で、少しでも長く滞在する中高一貫校に来てほしい。

首都圏の大きな受入実績

35,403人

全体の約4割（約41％）

中高一貫校の体験への投資

1.6倍

体験活動費は国公立の約1.6倍

中高一貫校の長期滞在

64％

4日以上（国公立は3％）

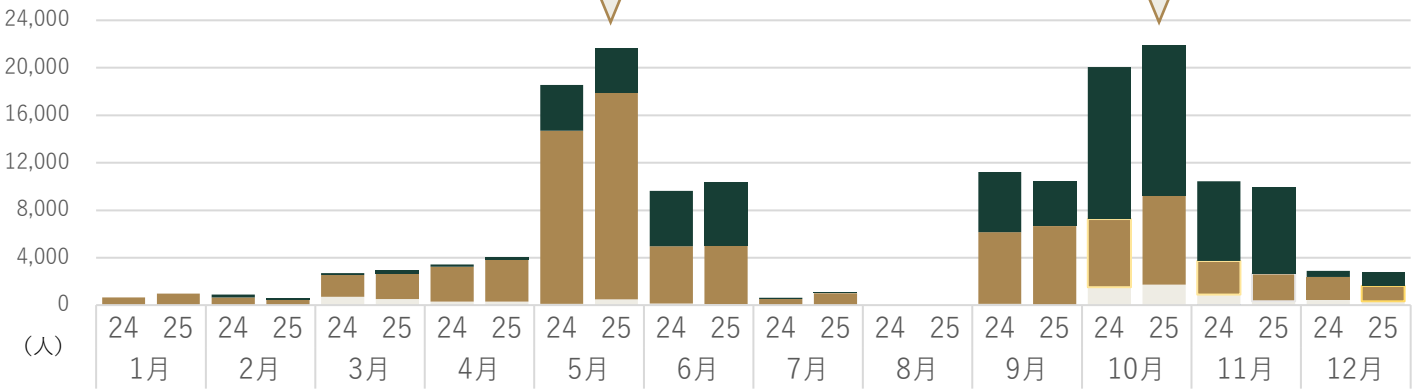
首都圏の大きな受入実績 × 中高一貫校の学びへの投資・長期滞在

データを踏まえ、首都圏の中高一貫校を重点誘致先に設定

公立・私立を問わず、中高一貫校を対象に広く周知します。

修学旅行の宿泊は春・秋に集中。

5月・10月 **43,441人** 年間宿泊者の約50%





出典：奈良市観光入込客数調査報告（2025年）
第10表。宿泊のみ。人数は月別数値の合算。

12月～2月 **4,379人** 年間宿泊者の約5%

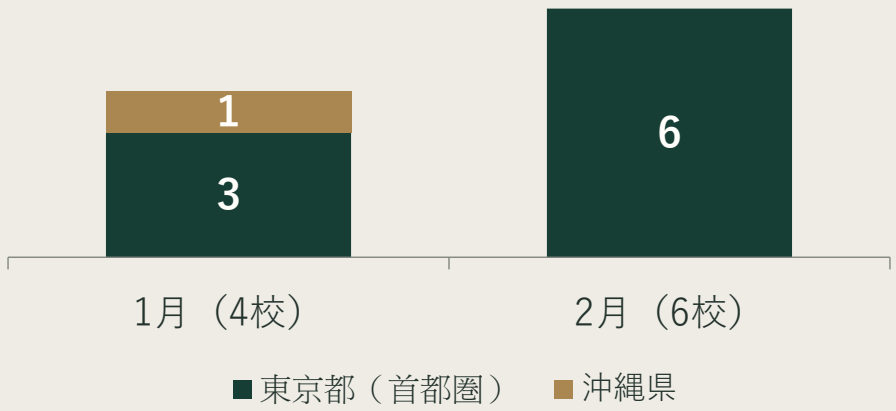
冬季にも選んでもらうには、
宿泊する理由づくりが必要

冬ならではの魅力的な条件と体験を提供し、奈良に泊まる動機をつくります。

閑散期の宿泊は、首都圏の学校が中心

1〜2月に宿泊した学校は10校（中学7・小学2・高校1）。うち9校が東京都の学校です。

1〜2月に宿泊した学校（10校）



1〜2月の宿泊校

9校 ／ 10校

東京都の学校（首都圏）が中心

1月：4校（東京都3校・沖縄県1校）
2月：6校（すべて東京都）
12〜2月の宿泊は年間宿泊者の約5%（4,379人）

冬季の受入は、首都圏の学校に支えられています。

※奈良市の宿泊データ（2025年）を行程単位で集計。12〜2月の宿泊者数は奈良市観光入込客数調査報告（2025年）第10表。

ファムツアー：先生が体験する「答えのない探究旅」

1泊2日・約30名の教育旅行担当教諭を対象に、古代から未来へつづく探究を体感していただきます。

富雄丸山古墳で探求

直径109m、日本最大の円墳。4世紀後半（約1,600年前）の築造

2022年、2m37cmの大型蛇行剣（古代東アジア最長）と日本最大級の盾形銅鏡が出土

「空白の4世紀」の謎に、答えのない探求学習で挑む

薬師寺 僧侶による法話

1967年（昭和42年）、高田好胤管主がお写経勧進で白鳳伽藍の復興を発願

金堂（1976年）・西塔（1981年）が再建。1998年に世界遺産登録

修学旅行生への「青空説法」で法話体験を定着させた歴史をたどり、「伝えることの意味」を探求する



奈良監獄ミュージアムby星野リゾート

1908年（明治41年）竣工。明治五大監獄で唯一全貌が残る（2017年重要文化財）

舎房が放射状に延びる「ハヴィランド・システム」等の美しさは、不平等条約改正を目指し欧米と同等の人権水準を示した国際化の象徴

更生を通じ法治国家の歩みと「自由の重み」を学ぶ、教育旅行に最適な施設

ノボテル奈良での宿泊・見学

奈良市宿泊施設国際認証取得支援補助金の取得第1号宿泊施設

エコな取組に加え、職員への人権教育など国際的に認められた取組を見学

奈良市は国連専門機関UN Tourismと令和6年から連携し、持続可能な観光を推進

1泊2日

約30名の教育旅行担当教諭

冬季（2026年12月～2027年2月）に実施予定

※補助金とは別の取組です。対象校数・実施時期等は事業計画に基づき調整します。

若草山頂から、奈良の「歴史と地理」を一望する

美しい夜景に感動しながら、奈良盆地をキャンバスに見立てて古代の都市計画や伝統に思いを馳せる、冬の夜の探求プログラム。

閑散期に宿泊する学校への特典



若草山トワイライト・夜景観賞バスツアー

奈良盆地を一望する特等席（標高342m）

眼下に広がる壮大な夜景を眺めながら、平城京（710年遷都）の広がりと区画を立体的に視認。なぜこの地に都が築かれたのか、古代の都市計画の思想を地理的視点からリアルに体感します。

地理から紐解く「都」の成り立ち

大阪・京都との広域的な位置関係も俯瞰しながら、「なぜ奈良に日本の原点となる都が築かれたのか」。実際の地形を眼下に収めることで、地理と歴史がダイナミックにつながる探求の機会を提供します。

山頂に眠る歴史と伝統の謎

山頂に佇む史跡・鶯塚古墳（全長約103m）。毎年1月に営まれる伝統行事「山焼き」は、芽吹きを促す農耕の風習か、あるいは古墳の鎮魂祭か。幾重もの歴史のロマンと、受け継がれる人々の営みに触れます。

心に残る思い出の夜景

2003年に「新日本三大夜景」に選ばれた圧倒的な美しさ。時には奈良公園のシカたちとの心温まる出会いもあり、生徒たちの忘れられない修学旅行のハイライトとなります。

※補助金とは別の取組です。実施時期等は事業計画に基づき調整します。

この秋が、誘致の大切なタイミング。

2028年度の修学旅行は、旅行先や実施時期の検討・決定が進みます。

2026年秋

旅行先・実施時期を検討

旅行会社の企画・選定が進む

→

2028年度

修学旅行の実施

だからこそ今、制度を周知し、学校・旅行会社へ働きかけます。

現在募集中｜奈良市修学旅行支援補助金

対象：2029年1～2月に宿泊する修学旅行

児童・生徒
1人1泊あたり **3,000円**

補助制度の詳細・申請方法は奈良市公式ウェブサイトをご確認ください。

周知・提案・体験を組み合わせて誘致へ。

01

制度を周知

補助金を学校・旅行会社へ案内

→

02

学校へ提案

新しいコンテンツや行程の提案

→

03

奈良を体験

ファムツアー・若草山トワイライト＆夜景観賞ツアー

目指すこと

修学旅行における冬季の宿泊需要をつくりと、未来の奈良ファンづくり。

修学旅行から、
未来の奈良ファンをつくる。

奈良市修学旅行誘致事業
進捗状況と今後の取組について

冬季宿泊誘致による、
深い奈良体験の提供と未来の奈良ファンづくり。

